



事業名 まちのコイン「やおやお」 地域活性化プロジェクト



取組の概要

八尾市は、多くの製造業が集積する国内有数の“ものづくりのまち”です。約3000もの中小企業が集積し、雇用やまちのにぎわいを創りだしてきました。一方で、近年は事業所数の減少や事業承継の問題があります。こういった背景から、本市の産業振興において、社会的つながりや関係性としてのコミュニティへの参加を促していくことが重要と考えております。この問題解決に向けた取り組みとしてコミュニティ通貨（地域電子通貨）「まちのコイン」を導入しました。これまで、市内企業や商店街と連携し、「まちコイン」を使ったスタンプラリーイベント等を積極的に開催してまいりました。その結果、本市内の商店街には延べ6,000人以上の人が訪れるなど、地域コミュニティの活性化や賑わい創出に貢献しています。



コミュニティ参画の見える化 による新たな価値創造



2022年6月に、八尾市と株式会社カヤックおよび大阪信用金庫は、それぞれが有するノウハウ、保有するサービス等やネットワーク機能を活用し、商業者、ものづくり企業、地域住民や関係人口等をつなぎ、そこから生み出す活動がクリエイティブな発想を誘発し、新たな価値づくりとなるとともに、その活動の見える化をはかることによって、八尾市の持続的な発展に寄与することを目的に連携協定を締結しました。

それらの目的を達成するため、「まちのコイン」というデジタルツールを導入し、事業者と地域住民のコミュニティづくり、事業者同士の横のつながり、市外の関係人口の創出を強化することで、自社の価値の再発見や新しい事業へのヒントとなる価値創造、商店街活性化など地域産業の根本的な課題解決に繋げていくことを目指しています。

お金では買えない特別な体験を通して地域コミュニティを活性化



2022年6月の連携協定締結後は、まずは「まちのコイン」というデジタルツールを活用した地域活性化の取り組みを実証実験としてスタートしました。その結果、多くの方の地域に関わるきっかけを創出し、コミュニケーションが出来る「場」の見える化を実現しました。

それを受けて、2023年4月からは、まちのコインを地域活性化に本格的に活用することになりました。現在(2023年9月時点)では、ユーザーが4,500人以上、登録スポットも160以上に上り、まちのコインの総流通量も導入地域中のトップクラスとなっています。

八尾市の代表的なイベントである「八尾河内音頭まつり」やその他各地域で開催されるマルシェやイベントにおいて、誘客や情報発信のツールとしてまちのコインが積極的に活用されており、八尾市民が地域の魅力や価値の再発見することができ、地域コミュニティの活性につながっています。

大阪・関西万博と八尾市をつなぐまちのコイン



八尾市は、自治体で唯一、2025年大阪・関西万博の「大阪ヘルスケアパビリオン」への出展が決定しており、八尾市の優れた中小企業・スタートアップの技術力や魅力を国内外に広く発信していきます。

現在、2025年大阪・関西万博を見据え、八尾市の更なるPRを兼ねたガバメントクラウドファンディング「まちのコイン“やおやお”地域活性化プロジェクト(9/10~12/10)」を実施しております。

さらには、2025年大阪・関西万博の開催期間中や会期終了後にも、まちのコインを使ったイベントを展開することにより、万博会場と八尾市内をつなぎ、市内企業の成長や経済波及及び効果を活かす取り組みを展開していきます。



問い合わせ先:八尾市 魅力創造部 産業政策課
担当者:中谷
URL:<https://factorism.jp/>
Mail:sangyou@city.yao.osaka.jp

